

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	416 組合土地区画整理事業事務費									
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち			担当部	都市整備部				
	基本計画【施策】	5-①市街地をより住みやすく				担当課	都市計画課				
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	04	項	都市計画費	05	目	土地区画整理事業推進費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	土地区画整理事業費			細事業名 (事業2)	組合土地区画整理事業事務費				
実施主体	市	実施方法	その他		対象	特定の団体	土地区画整理組合				
事業期間	開始年度				終了予定年度						
事業の目的	市街化区域内の未利用地における公共施設の整備改善や住宅地等の利用促進を計画的に実施することにより、住みやすい居住空間等を確保する。										
事業の概要	組合区画整理事業への技術支援及び公共施設の建設に際し要綱に基づき補助金を交付する。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績	内山土地区画整理事業への技術支援										
課題	市街化区域内の未利用地の解消										
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		決算(見込)額	1,306 千円			1,957 千円			1,286 千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円			0 千円			0 千円		
		一般財源	920 千円			684 千円			1,286 千円		
	人件費(B)		18,053 千円			14,493 千円			9,259 千円		
	人工(職員数の内訳)		2.33 人			1.92 人			1.22 人		
	トータルコスト(A)+(B)		18,973 千円			15,177 千円			10,545 千円		
活動指標	内容		単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	内山土地区画生理事業保留地販売件数	件	目標		4	-	-				
			実績		4	-	-				
達成度				100.0%							

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	
	市街化区域内の未利用地における公共施設の整備改善や、住宅地等の利用促進を計画的に実施することにより、住みやすい居住空間等を確保するためには必要な業務である。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
	今後の取組内容(課題に対する改善等)	候補地を洗い出し、地権者へ働きかける。

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	32 駅前自転車等駐車場等管理運営事業			
総合計画	めざまちの姿	5	調和のとれた便利なまち		担当部 企画部
	基本計画【施策】	5-①市街地をより住みやすく			担当課 市民協働課
関連予算科目	一般 会計	02 款	総務費	01 項	総務管理費 08 目 交通安全対策費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	公共交通推進費		細事業名 (事業2) 駅前自転車等駐車場等管理運営事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	全市民
事業期間	開始年度			終了予定年度	
事業の目的	市内各駅までの通勤通学の足となる自転車のための駅前自転車等駐車場や公衆便所を整備・維持管理することにより快適に利用できる環境を整備する。				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 各駅までの移動手段として、通勤通学者の自転車置場として、市内の5駅に駐輪場を設置する。（新居町駅は新居支所が管理） 不特定多数が利用する新所原駅には公衆便所を設置する。（知波田駅公衆便所は商工観光課が管理） これらの施設を快適に利用できるように、維持管理を行う。 				

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 自転車等駐車場の整備、維持及び管理 駐輪場内の放置自転車の整理 公衆便所の維持、管理 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> 自転車等駐車場の利用者マナーが悪い。 放置自転車整理員の任務、役割の見直し 公衆便所の施設が老朽化している。 					
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		決算 (見込) 額	1,933 千円	1,733 千円	2,865 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	2,122 千円	1,602 千円	2,865 千円	
	人件費 (B)	2,279 千円	1,853 千円	1,989 千円		
	人工 (職員数の内訳)	0.30 人	0.25 人	0.27 人		
	トータルコスト (A) + (B)	4,401 千円	3,455 千円	4,854 千円		
活動指標	内容		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	放置自転車の撤去台数	台	目標	120	120	120
			実績	263	110	
		達成度	219.2%	91.7%		

3. 評価 (Check)

総合判定	B 「課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業」 《判定理由》	
	市が継続して実施する必要がある。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	改善 (その他)
今後の取組内容 (課題に対する改善等)	放置自転車の撤去を直接事業者に依頼することで運搬の負担が軽減され、再利用ができない自転車を金属として販売収入を得ることが出来ることになった。